

交通渋滞解消をわったバス党

中三年 野村 結佳

沖縄県がかかえる問題の一つに、朝夕通勤

時間帯の大渋滞があります。その解決策の一

つとして、バスの利用率の向上があると私は

考えます。

私は、習い事に行く時、いつもバスを利用

しています。いつもバスを利用しても、バスの

空席が目立ちます。それとは対照的に怒から

の眺めは車の大渋滞です。この状況に気がい

た時、なぜみんなバスを利用しないのか疑問

に思い、それと同時に、もっとバスを利用す

るべきだという思いが強くなりました。

そこで、現在の状況をインターネットを硬

く調べました。分かったこと、二十

年前と比べ、バスの利用率は約六割も減少し

ているという事実があります。それとは反対

に、自動車保有台数は約七割も増加している

（わったバス党活動概要より）というので

す。このように現状だと、バスの空席が目立

ち、車の大渋滞が問題になってしまっているのは、あたり前なのかもしれません。この問題について県民全体で向き合っていくべきだと思えます。

みんながバスを利用しない理由として考えられることは、バスが時間通りに来ない、運賃が高い、目的地周辺にバスが停まらない、足があとと考えると考えられます。バスが時間通りに来ない最も大きい理由は、車が多すぎて、道が大渋滞しているからだと考えま

す。バスを利用すれば、車の大渋滞はなくなるし、バスも時間通りに来るようになると思います。

そこで、私はいくつかの解決策を考えたつもりです。まず、1つ目の解決策は、週に一回車には乗らず、バスを利用する。バス利用のための奨励をつくり、バスが身近になるようにすることです。ただバスを利用しようとしても難しいので、県や企業の協力も必要だと思います。

二つ目の解決策は、バス待近くの駐車場の整備です。特に雨の日などはみんな自転車に乗るので、さらに大渋滞です。家からバス待ちでは自転車で行き、そこからバスに乗るという仕組みが良いと思います。当然その時の駐車料金も格安にしておくと必要があると思います。それに加え、雨の日にはバス停で濡れず待つためにもバス停に屋根をつくる必要があると思います。

三つ目の解決策は、バスレーンを警察が

と厳しく取り締まることです。バスレーン規制を行っていただきますが、ルールを守らなければ多くいるため、せめてバスのレーンにバスはスムーズに進んでいきます。四つ目の解決策は、バス料金の引き下げです。那覇市内は市内運賃で安いですが、市外に出たとなると運賃が上がり、那覇のベトナムタウンであり渋滞がみられる浦添や宜野湾、西原や手那原も市内運賃に近い料金であれば、利用しやすいと思います。ただ、この

県は県や国の補助が必要かもしれません。
車を利用することは、排気ガスから二酸化
炭素が発生し、世界で地球温暖化が問題と好
まれている今、環境に悪影響を与えていると思
います。少しでも二酸化炭素の排出を抑えね
るためには、やはり、バスの利用が大切だと
てくと考えます。それと同時に、現在沖縄
で問題と好まれている県民の運動不足解消にも
つながると考えます。

このように、バスを利用することほ、今の
沖縄県の課題を少しずつ解決していくことに
つながり、将来の沖縄県をより良い場所に変
えていくと私は考えます。お母さん、もつと
バスを利用しましょう。県民お母さんが「わ
たしバス党」と言えるまで。